

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	道路観光資源化事業
事業主体 (連絡先)	阿南町 (0260-22-4053)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,021,579 円 (うち支援金: 816,000 円)

事業内容

阿南町及び泰阜村内にある特長的な12種類の橋をカードにして、町村内の温泉や道の駅等の施設を利用すると、その施設毎に定めたカードを入手できるようにした。

12枚目のカードは、残りの11枚のカードを全て集めることで入手できるようにし、コレクター性の向上を図った。

カードフォルダー付きパンフレットを作成して、交流人口の増加が特に期待できる愛知三河方面の道の駅を主として置かせていただき、愛知三河方面の交流人口の増加を図った。



【愛知県のコンプリート者】

【目標・ねらい】

- ①道路構造物の橋を観光資源として捉え、新たな観光資源の発掘。
- ②町村内を周遊してもらうことで、交流人口の増加を図る。

事業効果

① カードを集めていくことのコレクター性が感じられた。また、道路構造物である橋の観光資源化(集客の可能性)が図られた。

② 数値的目標と効果

「道の駅信州新野千石平」及び「阿南温泉かじかの湯」の年間利用者数

58万人(H27調査)→568,738人(H29調査)

「あいパークやすおか」及び「万古溪谷」の年間利用者数
1万2千人(H28調査)→9,599人(H29調査)

※自己評価【B】

【理由】

橋の観光資源化が図られたが、各施設の目標利用者数の増加は達成することが出来なかったため。

今後の取り組み

今後、「橋カード」事業を下伊那の市町村にも広げ、地域間の連携をすることで下伊那地域の広域的な観光の推進を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある